

静岡焼津線(焼津市浜当目)の災害復旧費が確定しました

島田土木事務所企画検査課

7月14～15日に国土交通省と財務省による災害査定が行われましたが、大規模であることから災害復旧事業としての採否、金額が保留されていました。

このたび、国土交通省と財務省の協議が完了したことから、8月27日に災害復旧費として約14億5千万円が認められました。

県道静岡焼津線(焼津市浜当目)は、台風26号が接近した平成25年10月15日に道路が沈下したため通行止めとなっており、その後の地質調査や地盤の変動調査により地すべり災害であることが判明しました。

災害復旧に向けて、調査・設計を行い、7月に被災箇所を原形に復旧する場合の災害査定を受けていました。

同路線は、まだまだ脆弱な箇所が多く存在することから、原形復旧した場合に再び災害が起こる可能性が高いため、被災箇所を原形復旧するのではなく、この区間をトンネルで迂回する対策の実施を国と協議しています。